

# 図面、文書の電子データ作成 に関する仕様書

平成16年12月

東京都交通局建設工務部

# 目 次

第1章 共通事項	3
第1節 一般事項	3
1.1.1 目的	3
1.1.2 適用範囲	3
1.1.3 用語の定義	3
1.1.4 処理作業の流れ	5
1.1.5 納入範囲	6
1.1.6 打合せ	6
1.1.7 製品確認	6
第2節 共通規格	7
1.2.1 媒体	7
1.2.2 ディレクトリ構造	7
1.2.3 ケース	8
1.2.4 ケースへの表示内容	8
1.2.5 CD-Rへの表示内容	9
第2章 CADによる図面作成	10
第1節 設計完了図・工事完了図・施設管理図面	10
2.1.1 使用ソフト	10
2.1.2 AutoCADのバージョン	10
2.1.3 保存形式	10
2.1.4 作図単位	10
2.1.5 線種ファイル及びハッチングパターンファイルの設定	10
2.1.6 印刷スタイルテーブルの設定	10
2.1.7 レイヤー標準表	11
2.1.8 レイヤー作成要領	13
2.1.9 線種の設定	14
2.1.10 グローバル線種尺度(LTSCALE)の設定	14
2.1.11 文字の設定	15
2.1.12 寸法の設定	15
2.1.13 ペンの設定	18
2.1.14 CADの確認	18
2.1.15 参考図	19

第3章 図面・文書の提出方法 .....	20
第1節 設計完了図・工事完了図・施設管理図面 .....	20
3.1.1 実体ファイルの形式 .....	20
3.1.2 インデックスファイルの形式 .....	21
3.1.3 製品確認 .....	21
第2節 計算書 .....	23
3.2.1 実体ファイルの形式 .....	23
3.2.2 インデックスファイルの形式 .....	24
3.2.3 製品確認 .....	24
第3節 主な注意事項 .....	26
3.3.1 インデックス表の作成にあたって .....	26
3.3.2 ファイル・フォルダ名の規則 .....	27
3.3.3 保存にあたって .....	27
別紙 .....	28
別紙1 インデックスファイルの記入例（工事完了図）	
別紙2 インデックスファイルの記入例（文書）	
別紙3 定数体系図	
別紙4 図面文書管理体系コード表（工事完了図）	
別紙5 図面文書管理体系コード表（文書）	
別紙6 入力表	

## 第1章 共通事項

### 第1節 一般事項

#### 1.1.1 目的

この仕様書は、建設工務部における設計完了図、工事完了図、施設管理図面（以下「図面」という。）及び計算書等（以下「文書」という。）の電子データ作成に関する必要な事項を定め、電子データの交換・共有に資することにより、適正な施設管理図面の更新及び管理を図ることを目的とする。

#### 1.1.2 適用範囲

- 1 この仕様書は、以下に掲げる図面及び文書の電子データ化について適用する。
  - (1) 新設及び改良工事の設計委託において作成される設計完了図及び文書
  - (2) 新設及び改良工事の請負業者において作成される工事完了図
  - (3) 新設及び改良工事の請負工事完了後、当局において作成される文書
  - (4) 施設管理図面
- 2 この仕様書において、建設工務部 建築課の工事については「第1章 共通事項 第2節 共通規格」から「第3章 図面、文書の提出方法 第3節 主な注意事項」までの内容は、別に定める「図面文書電子データ作成仕様書（案）」（以下「仕様書（建築）」という。）及び「図面文書電子データ取扱マニュアル（案）」（以下「マニュアル」という。）を適用するものとする。
- 3 設計委託のときは、この仕様書において「請負者」を「受託者」と読み替えるものとする。

#### 1.1.3 用語の定義

この仕様書において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 「設計完了図」とは、設計委託時に作成し、設計が完了した時点の図面をいう。
- (2) 「工事完了図」とは、工事が完了した時点で、設計完了図又は発注図に、出来形測量の結果、最終的にできあがったものを追加修正した図面をいう。
- (3) 「施設管理図面」とは、駅及びトンネルの維持管理、沿線の建築確認、他企業との協議等で、現状を把握するのに必要な図面であり、鉄道事業者として、整備しておかなければならない図面である。

その具体的内容は、次のとおりとする。

- 各路線の線路実測平面図
- 各路線の線路実測縦断図
- 各駅一般図

- (4)「計算書」とは、構造計算書、数量計算書等の計算書をいう。
- (5)「CAD (Computer Aided Design)」とは、グラフィックス・ディスプレイを介して設計者が、コンピュータ支援を得ながら設計を行うシステムをいう。
- (6)「Jw\_cad」とは、フリーソフト「Jw\_cad for windows」シリーズの総称をいう。
- (7)「Auto CAD」とは、Autodesk 社の CAD ソフト「AutoCAD LT」「AutoCAD 」シリーズの総称をいう。
- (8)「jww」とは、フリーソフト「Jw\_cad for windows」で作成された CAD 図面形式の拡張子をいう。(入手先アドレス <http://www.jwcad.net/> )
- (9)「dwg」とは、Autodesk 社の CAD ソフト「AutoCAD」で作成された CAD 図面形式の拡張子をいう。
- (10)「dxf (Drawing Interchange File (Format) )」とは、Autodesk 社による図面ファイルデータの公開された形式の拡張子をいう。
- (11)「PDF」とは、Adobe Systems 社によって開発された、電子文書のための**フォーマット**(拡張子)をいう。  
レイアウトソフトなどで作成した文書を電子的に配布することができ、相手の**コンピュータ**の機種や環境によらず、オリジナルのイメージをかなりの程度正確に再生することができる。文字情報だけでなく、**フォント**や文字の大きさ、字飾り、埋め込まれた画像、それらのレイアウトなどの情報を保存できる。PDF 文書の作成には、同社の **Adobe Acrobat** 又は同機能を持つ変換ソフトウェアが、表示には **Acrobat Reader** という閲覧ソフトウェアが必要。
- (12)「エクセル」とは、Microsoft 社「Microsoft Excel 」シリーズの総称をいう。
- (13)「ワード」とは、Microsoft 社「Microsoft Word 」シリーズの総称をいう。
- (14)「LZH」とは、圧縮ソフト LHA とその互換プログラムで圧縮したファイルの拡張子をいう。
- (15)「交通局図面文書管理システム」とは、当局内にある図面・文書の管理用システムをいう。
- (16)「インデックスファイル」とは、交通局図面文書管理システムに登録する電子データ(実体ファイル)に対して設定する索引ファイルをいう。
- (17)「csv (Comma Separated Vale )」とは、値をコンマ( , )で区切って書いたテキストファイルをいう。
- (18)「実体ファイル」とは、交通局図面文書管理システムに登録する図面及び文書等の電子ファイルをいう。
- (19)「レイヤーリスト」とは、CAD 図面におけるレイヤー名とそのレイヤー内に描かれている内容に対応させた表をいう。
- (20)「データチェックツール」とは、交通局図面文書管理システムに登録するインデックスファイル及び実体ファイルを検査するプログラムをいう。

(21)「CD - R ( Compact Disc Recordable )」とは、記録できる CD ( Compact Disc ) をいう。

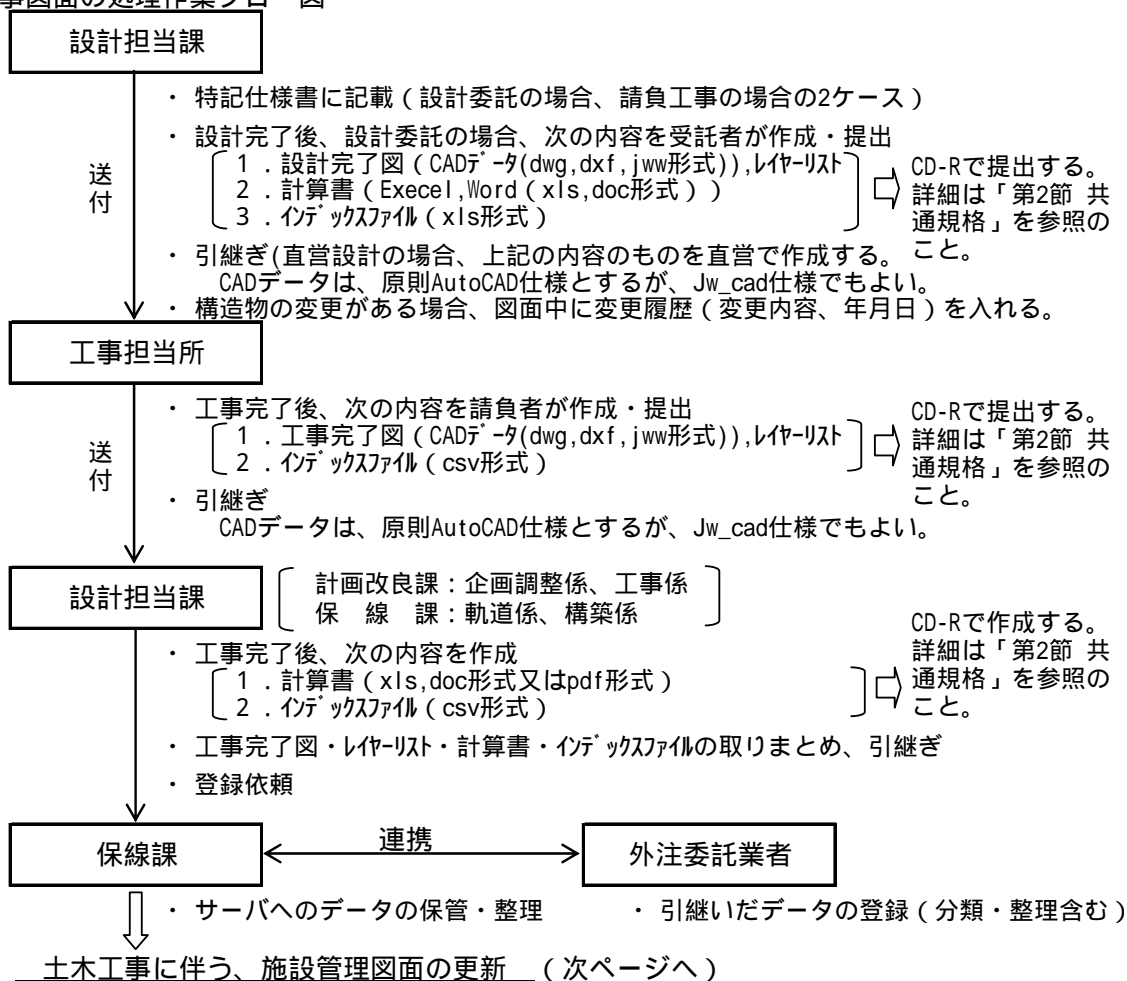
#### 1.1.4 処理作業の流れ

施設管理図面のデータの更新に必要な処理作業は、以下のとおりとする。

### ～ 処理作業フロー図～

下記のフロー図は、**新設及び改良工事**を対象とする。(補修工事関係は対象外である。)

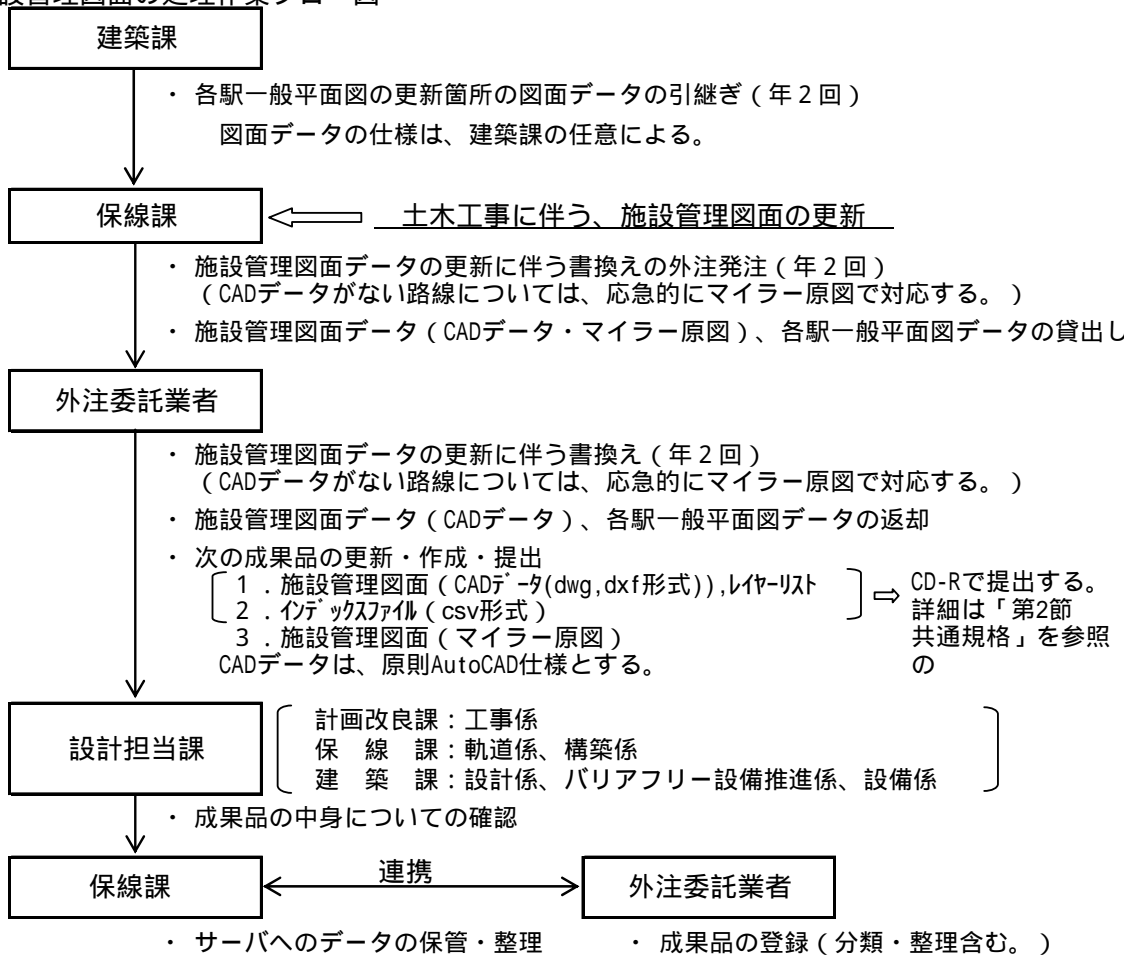
工事図面の処理作業フロー図



建築課については、次のとおりとする。

- 1 工事図面の処理作業は、仕様書(建築)及びマニュアルによるものとする。
- 2 その他、担当する作業は、次のとおりとする。(図面仕様は、建築課の任意とする。)  
 各駅一般平面図の管理及び更新に伴う図面の書換え  
 火災対策設備図の管理及び更新に伴う図面の書換え  
 各駅一般平面図の更新箇所の図面データを保線課に引継ぐ

施設管理図面の処理作業フロー図



1.1.5 納入範囲

この仕様書における成果品の納入範囲は、以下のとおりとする。

- (1) 電子データが記録された媒体 . . . . . 計2式

1.1.6 打合せ

請負者は、契約後監督員と詳細について打合せを行うこと。

1.1.7 製品確認

請負者は各種電子データの納入前に、監督員によりデータの読み出し確認を仕様書に従い受けること。

なお、確認の結果、不合格の場合は、代替品を再提出すること。

## 第2節 共通規格

### 1.2.1 媒体

媒体は、原則として容量が650MB以上のCD-R(以下「CD-R」という。)とすること。

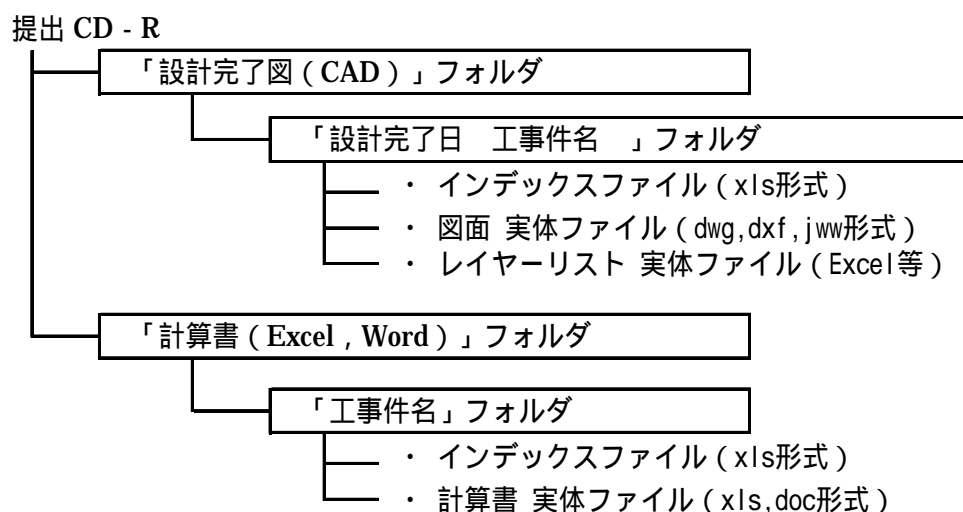
フォーマットは、追加不可能な状態かつ、CD-ROMドライブで読める状態とすること。

### 1.2.2 ディレクトリ構造

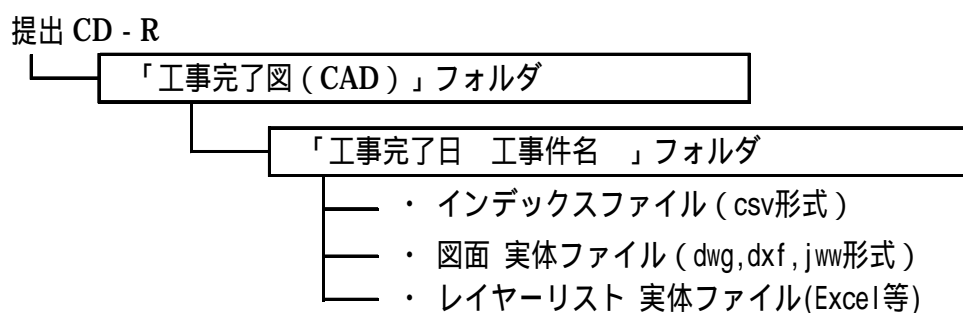
CD-Rには、図面及び文書を電子データ化したファイルを保存する。

フォルダ構成は、次のとおりとする。

#### (1) 設計委託

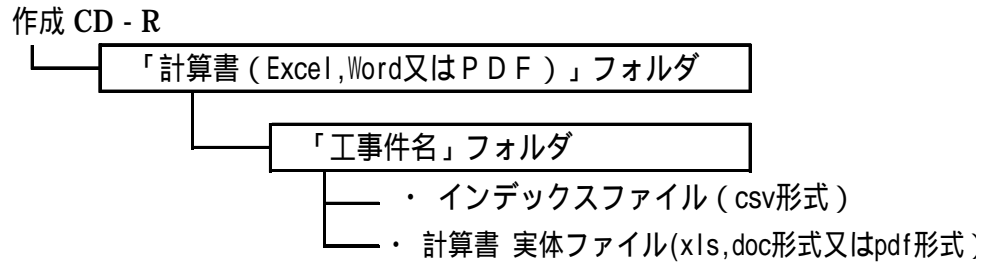


#### (2) 請負工事

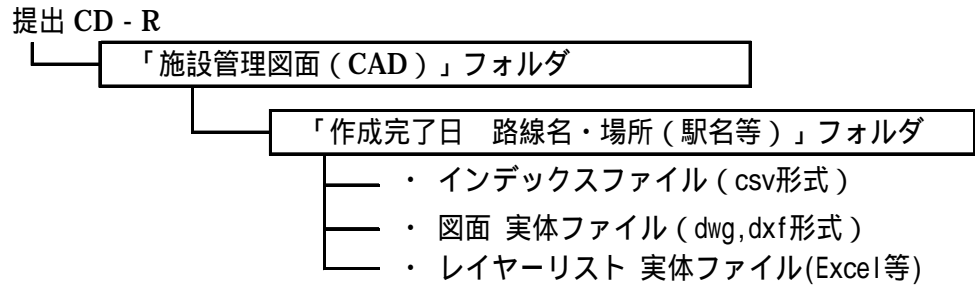


CADの「設計(工事)完了日 工事件名」フォルダのファイル名は、監督員の指示に従い、(例:「160901 駅エレベータ設置土木工事」)のように作成する。

(3) 請負工事完了後(当局において作成する。)



(4) 施設管理図面のデータの書き換え



1.2.3 ケース

CD - R は、プラスチック製のケースに納め、ケースの内容を表示すること。

1.2.4 ケースの表示内容

ケースへは、次のとおり表示すること。

平成 年度 件名	平成 年度	
	線 名	
	件 名	
	文 書 番 号	
	分 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事完了図</li> <li>・ 設計完了図</li> <li>・ 計算書</li> <li>・ その他</li> </ul>
	納入年月日	
	請 負 業 者	
	東 京 都 交 通 局	

文書番号は、契約書記載番号のものとする。

分類は、該当するものに をつける。

1.2.5 CD-Rへの表示内容

CD-Rへは、次のとおり表示すること。

文 書 番 号
件 名
東京都交通局
納 入 年 月 日
請 負 者 名

## 第2章 CADによる図面作成

### 第1節 設計完了図・工事完了図・施設管理図面

#### 2.1.1 使用ソフト

使用ソフトは、原則として「AutoCAD」とする。ただし、「Jw\_cad」でもよい。

#### 2.1.2 AutoCADのバージョン

AutoCADのバージョンは、「2000i以上」とする。

#### 2.1.3 保存形式

ファイルの保存は、「AutoCAD 2000」形式とし、`dwg`、`dxf`形式の2種類で保存する。ただし、「Jw\_cad」形式の場合は、`jww`、`dxf`形式の2種類で保存してもよい。なお、保存する際には、1つのファイルで完結（リンクしてない状態）させること。

#### 2.1.4 作図単位

作図単位は、1:1を標準とする。  
単位は、mm（ミリメートル単位）を標準とする。

#### 2.1.5 線種ファイル及びハッチングパターンファイルの設定

ロードする線種ファイルはミリメートル単位系の「`acltiso.lin`」「`acadiso.lin`」とし、ハッチングパターンファイルは「`acltiso.pat`」「`acadiso.pat`」とする。（一つの図面にインチとミリメートルのオブジェクトが、混在しないよう注意する。）

#### 対処法

- i) 図面の初期設定がインチの場合  
コマンドラインに「`measurement`」「`1`」と入力する。
- ii) 図面の中にインチ単位の線種がある場合  
「線種設定」で「`acltiso.lin`」「`acadiso.lin`」のファイルをロードしなおす。

#### 2.1.6 印刷スタイルテーブルの設定

印刷スタイルテーブルは「色従属印刷スタイル（\*.ctb）」を使用するものとし、線の太さは色によって管理する。

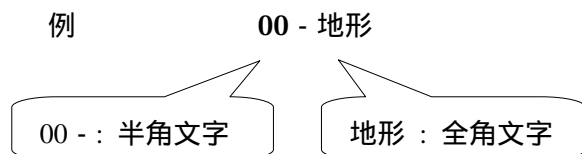
2.1.7 レイヤー標準表

項目	レイヤ - 名	色	適 用	
地形	00 - 地形	8	左記のレイヤーは必要により 作成するものとする。	
	01 - 将来地形	1		
	02 - 車線	8		
	03 - 人孔	8		
	04 - 標高	8		
	05 - 等高線	8		
	06 - 境界線	8		
	07 - 地盤線	1		縦断、横断の地盤線
	08 - グリッド	8		
	09 - その他	-		
線形	10 - 測量中心	4	20m毎の記号とキロ程、 円曲線緩和曲線の始終点記号含む。	
	11 - 軌道中心	6		
	12 - 軌道中心副本線	6		
	13 - 側線	6		
	14 -			
	15 -			
	16 -			
	17 -			
	18 -			
	19 - その他	-		
土木構造物	20 - 構造物	7		
	21 - 基準線	1		
	22 - 着色及びハッチング	-		
	23 -			
	24 -			
	25 -			
	26 -			
	27 -			
	28 -			
	29 - その他	-		
建築構造物・その他	30 - 建築仕上げ	1		
	31 - 昇降設備	4	昇降の記号を含む。	
	32 - 施設	4		
	33 - 施設文字	3	レイアウト図などの施設名称	
	34 - 車両	1		
	35 -			
	36 -			
	37 -			
	38 -			
	39 - その他	-		
寸法・文字	40 - 寸法	4	色：文字-3	
	41 - 文字	3		
	42 - 旗上げ	4		
	43 - 引出し	4		
	44 - 諸元	3		
	45 - 表	7		表中の文字を含む 色：文字-3
	46 - タイトル	6		
	47 -			
	48 -			
	49 - その他	-		

項目	レイヤ - 名	色	適 用
配筋	50 - 主筋	2	
	51 - 配力筋	3	
	52 - 肋筋	7	
	53 - 補強筋	2	
	54 - アンカー	2	
	55 -		
	56 -		
	57 -		
	58 - 加工表	7	表中の文字、図を含む 色:表、形状-7、文字-3
	59 - その他	-	
仮設構造物	60 - 土留壁	7	色：芯材-7、壁体-4
	61 - 覆工	7	
	62 - 切梁	7	
	63 - 腹起し	7	
	64 - 中間杭	7	色：芯材-7、壁体-4
	65 - 継材	3	
	66 - 地盤改良	7	
	67 -		
	68 -		
	69 - その他	-	
支障構造物	70 - 電力	40	
	71 - ガス	90	
	72 - 通信	10	
	73 - 上水道	150	
	74 - 下水道	33	
	75 - 河川	7	
	76 - 道路	7	
	77 - 鉄道	7	
	78 - 支障構造物	7	
	79 - その他	-	
応力	80 - 荷重	7	
	81 - 応力	7	
	82 -		
	83 -		
	84 -		
	85 -		
	86 -		
	87 -		
	88 -		
	89 - その他	-	
図面枠	90 - 図面枠	5	
	91 - タイトル版	2	
	92 - 凡例	-	
	93 -		
	94 -		
	95 -		
	96 -		
	97 -		
	98 -		
	99 - その他	-	

## 2.1.8 レイヤー作成要領

(1) レイヤー名は、「レイヤー標準表」を基準とする。



(2) 各レイヤーを細分化したい場合は、次に示す方法により、レイヤーを増設するものとする。

### 例

20 - 構造物

201 - 駅本体構造物

202 - 出入口

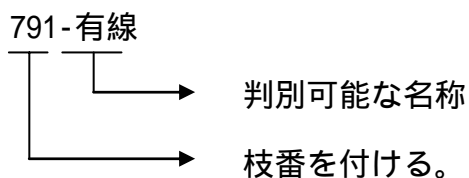
203 - 換気塔

(3) オブジェクトの色は「2.1.7 レイヤー標準表」によるものとし、Bylayerを基本とする。また、それぞれの色のペン設定は、「2.1.13 ペン設定」に示すとおりとする。ただし、やむを得ない場合は、ペンの太さを「2.1.13 ペン設定」に従い、レイヤー又はオブジェクト毎に色を設定するものとする。

(4) レイヤー標準表に無いレイヤー名が必要な場合は、各項目の「その他」を使うものとし、判別可能な名称を付けるものとする。

### 使用例

× 79-その他 → 原則として使用しない。



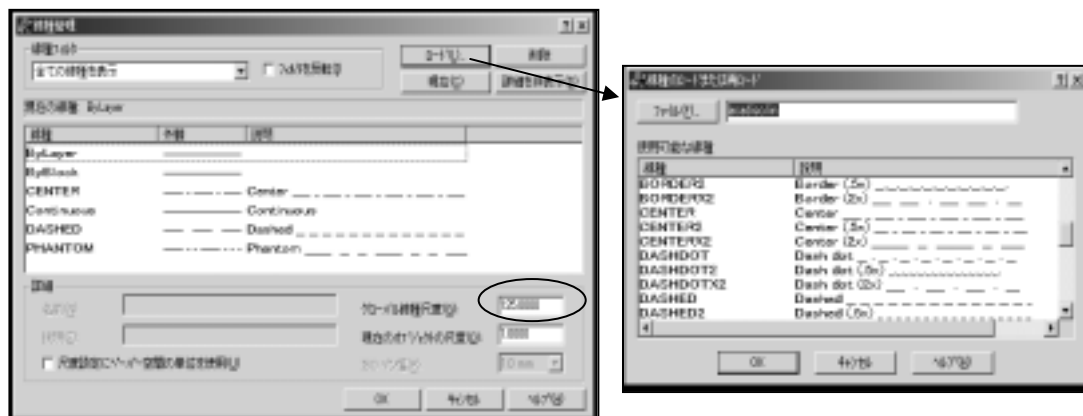
### 2.1.9 線種の設定

ロードする線種ファイルは、ミリメートル単位系の「acltiso.lin」「acadiso.lin」を使用する。また、次の線種を基準とする。

一点鎖線	CENTER	CENTER2	CENTERX2
二点鎖線	PHANTOM	PHANTOM2	PHANTOMX2
破線	DASHED	DASHED2	DASHEDX2

### 2.1.10 グローバル線種尺度(LTSCALE)の設定

線種尺度はオブジェクトごとに変更するのではなく、グローバル線種尺度で一括管理する。オブジェクトの線種尺度はすべて「1」とする。ただし、やむを得ない場合（線が短いために実線に見えてしまう場合など）は、オブジェクトごとに設定するものとする。



グローバル線種尺度の算出法

$$\text{グローバル線種尺度} = \text{出力する縮尺の分母} \times 25\%$$

グローバル線種尺度は、図面の縮尺によって次表のように設定する。

図面尺度	線種尺度
1/500	125
1/200	50
1/100	25
1/40	10
1/30	7.5
1/20	5
1/1	0.25

## 2.1.11 文字の設定

### (1) 文字の大きさ

文字の大きさは、” 2.5、3.5、4、5、7、10、14、20mm ” を標準とする。ただし、やむを得ない場合は、上記に示す数値以外の大きさを使用できるものとする。

### (2) フォントの設定

次表のフォントを基準とする。ただし、やむを得ない場合は、この限りではない。

スタイル名	SHX フォント	ビッグフォント	幅係数	適用
romans	romans.shx	bigfont.shx	1.0	全角文字(2バイト文字)
romans-half	romans.shx	bigfont.shx	0.8	半角文字(1バイト文字)
romans-tate	romans.shx	bigfont.shx	1.0	全角縦書き
mincho	MS 明朝	標準	1.0	タイトル、サブタイトル、その他
mincho-tate	@MS 明朝	標準	1.0	明朝縦書き
gothic	MS ゴシック	標準	1.0	タイトル、サブタイトル、その他
gothic-tate	@MS ゴシック	標準	1.0	ゴシック縦書き

### (3) カスタマイズされたシェイプフォントファイル(.SHX)

データ相互交換を考慮し、基本的に使用しないものとする。

## 2.1.12 寸法の設定

寸法スタイルは、次の「設定の一覧表」を標準とする。ただし、やむを得ない場合はこの限りではない。

### (1) 寸法スタイル名

寸法スタイル名は、dim の後に図面尺度を付ける。

例

1/200 . . . dim200

1/500 . . . dim500

( 2 ) 寸法設定の一覧表

タブ			設定値
寸法線と矢印	寸法線	色	cyan
		線の太さ	byblock
		並列寸法の寸法線間隔	8mm
	寸法補助線	色	cyan
		線の太さ	byblock
		補助線延長長さ	0mm
		起点からのオフセット	1.0mm
	矢印	一番目	開矢印
		二番目	開矢印
		引出線	開矢印
		矢印のサイズ	2.0mm
	寸法値	寸法値の表示	文字スタイル
文字の色			green
文字の高さ			3.5mm
寸法値の配置		垂直方向	上
		水平方向	中心
		寸法線からのオフセット	1.0mm
寸法値の位置合わせ		寸法線の傾きに合わせる	
フィット	フィットオプション	寸法値は常に寸法補助線の内側	
	寸法値の配置	引出線なしに寸法値を自由に移動	
	寸法図形の尺度	別記	別記
	微調整	常に寸法線を寸法補助線の内側に記入	

「寸法図形の尺度」の設定

「全体の尺度」にチェックし図面の縮尺を入力する。

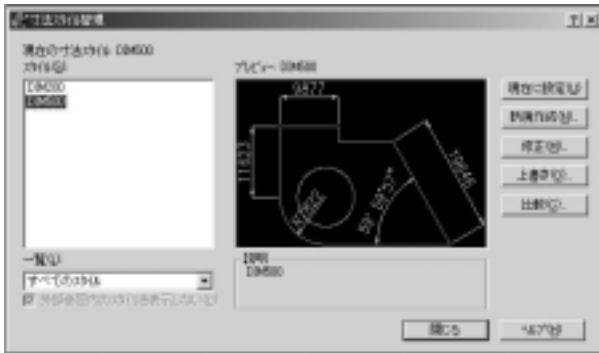
尺度の分母を入力

例

1/200の場合：200

1/500の場合：500

(3) 寸法設定の一覧



「全体の尺度」にチェックし  
 図面の尺度を入力  
 1/100 の場合:100 1/200 の場合:200  
 1/500 の場合:500

### 2.1.13 ペンの設定

(1) ペンの設定は以下の表を基準とする。

標準

オブジェクト の色	ペン番号	ペンの太さ	
		原寸版	縮小版
1	7	0.2	0.1
2	7	0.3	0.15
3	7	0.25	0.13
4	7	0.15	0.1
5	7	0.7	0.35
6	7	0.4	0.2
7	7	0.3	0.15
8	7	0.05	0.05
9	7	0.1	0.05
10	7	0.3	0.15
33	7	0.3	0.15
40	7	0.3	0.15
90	7	0.3	0.15
150	7	0.3	0.15
210	7	0.3	0.15

### 2.1.14 CADの確認

CAD データ納入時の確認は、次の事項を目安とする。

- (1) この仕様書に従って、CAD ファイルが作成されているか。特にレイヤーの名称、図面の色番号は、間違えていないか。
- (2) 原寸大で印刷したとき見やすい図面となっているか。
- (3) CD-R のケース及び本体に、この仕様書どおりの表記がなされているか。

## 2 . 1 . 1 5 参考図

ここにはアクロバットからの図を貼ると画像が劣るので、原紙を貼り付け。

## 第3章 図面・文書の提出方法

### 第1節 設計完了図・工事完了図・施設管理図面

#### 3.1.1 実体ファイルの形式

##### (1) ファイル形式

ファイル形式は、**dwg, dxf** とする。ただし、**Jw\_cad** 仕様図面の場合、**jww, dxf** 形式でもよい。

##### (2) サイズ

図面は、原寸大入力とする。

##### (3) ファイル名

ファイル名は、次のとおりとし、監督員の指示を受けたものとする。

ア 図面ファイル名

**kg c 01000001 .xxx**

大分類・路線名

(01 浅草線 06 三田線 10 新宿線 12 大江戸線 ka 総務部 kb 職員部

kd 電車部 ke 自動車部 kf 車両電気部(車両) kg 建設工務部

kh 車両電気部(電気) kh その他)

大分類・工事別名

(a 建築 m 機械(設備) e 電気 c 土木 d その他)

中分類(駅別・施設番号)

小分類

図面番号(連番とする。)

拡張子(dwg, dxf, jww)

##### (4) ファイルの分割

一つのファイルの容量が3MB以上の場合は、最大3MB程度でほぼ均等に分割すること。分割に当たっては、可能な限り区切りの良いところで分割し、ファイル名に分割番号をつけること。分割番号は、「-01」「-02」「-03」とする。ただし、1枚の図面で3MBを越えるときは、その図面に関しては、分割を行わないこと。

なお、図面は1枚の図面につき1ファイルとし、マルチファイル形式にしないこと。

と。

### 3.1.2 インデックスファイルの形式

インデックスファイルの形式は、原則として交通局図面文書管理システムの運用に準ずること。

#### (1) ファイル形式

設計完了図のインデックスファイルは、別紙6「入力表」を参照にして、Excelで作成し、xls形式で保存したものとする。また、工事完了図及び施設管理図面のインデックスファイルは、別紙6「入力表」を参照にして、Excel等で作成(どのような方法で作成しても構わない。)し、csv形式で保存したものとする。

#### (2) ファイル数

「設計完了図(CAD)」「工事完了図(CAD)」「施設管理図面(CAD)」フォルダ内の「設計完了日 工事件名」「工事完了日 工事件名」「作成完了日 路線名・場所(駅名等)」フォルダにつき、1インデックスファイルとする。また、容量によりCD-Rが複数枚にまたがる場合は、インデックスファイルをそれぞれのCD-Rの内容に対応するように分割し、各CD-Rごとに保存すること。

#### (3) 禁則文字

半角カンマ、機種依存文字及び全角ハイフンは、使用しないこと(「第3節 主な注意事項」の「3.3.1 インデックス表の作成に当たって」の(4)を参照のこと。)

#### (4) ファイル名

ファイル名は、次のとおりとする。

- ・設計完了図のインデックスファイルは、「工事件名.xls」とすること。
- ・工事完了図のインデックスファイルは、「工事件名.csv」とすること。
- ・施設管理図面のインデックスファイルは、「路線名・場所.csv」とすること。

#### (5) ファイル内容

別紙1「インデックスファイルの記入例(図面)」に従い、別紙3「定数体系図」及び別紙4「図面文書管理体系コード表(図面)」のコードの中から入力したデータとする。

### 3.1.3 製品確認

監督員によるデータ納入前の確認は、次の事項を目安とする。

- ( 1 ) この仕様書に従って、インデックスファイル・実体ファイルが作成されているか。  
特にインデックスの付け方は、間違えていないか。
- ( 2 ) 原寸大で印刷したとき、見やすい図面となっているか。
- ( 3 ) CD - R のケース及び本体に、この仕様書どおりの表記がなされているか。
- ( 4 ) CD - R をウイルスチェックし、感染されていないか。
- ( 5 ) CD - R 内の全データが、関連するソフトウェアにより読み込みが可能であるか。  
(「関連するソフトウェア」とは、「1 . 1 . 3 用語の定義」に記載のあるソフトウェアとする。)

## 第2節 計算書

### 3.2.1 実体ファイルの形式

#### (1) ファイル形式

設計委託は xls,doc 形式とし、請負工事完了後は xls,doc 形式又は pdf 形式とする。

#### (2) サイズ

文書は、原則として原寸大入力とする。A2 以上の図面が添付されている書類については、A2 に縮小するものとする。

#### (3) ファイル名

kg c 001 d 001 .xxx

大分類・路線名（前節 と同様とする。）

大分類・工事別名（前節 と同様とする。）

中分類（前節 と同様とする。）

書類分類（下表のとおりとする。）

書類分類	
p（計）	計画通知書（適合通知書・工事届・地下建など民間の確認申請含）各区開発指導要項関係書類・緑化計画届・紛争予防条例関係 等
f（消）	火災対策設備図（国提出） 防災対象物使用届・危険物貯蔵庫設置届 等
a（協）	メトロ等の協定書（協議書・覚書）
w（水）	水道・下水道関係
d（文）	計算書その他（数量計算書、構造計算書、設備計算書、その他重要文書、他機関提出書類）

文書番号（連番とする。）

拡張子（xls,doc,pdf ）

#### (4) ファイルの分割

一つのファイルの容量が3MB以上の場合は、最大3MB程度でほぼ均等に分割すること。分割に当たっては、可能な限り区切りの良いところで分割し、ファイル名に分割番号をつけること。分割番号は、「-01」「-02」「-03」とする。ただし、1

枚の文書で3MBを越えるときは、その文書に関しては、分割を行わないこと。

また、1つの文書が複数ページに渡る場合、1つの文書につき1ファイルとするマルチファイル形式とする。

### 3.2.2 インデックスファイルの形式

インデックスファイルの形式は、原則として交通局図面文書管理システムの運用に準ずること。

#### (1) ファイル形式

設計委託の計算書のインデックスファイルは、別紙6「入力表」を参照にして、Excelで作成し、xls形式で保存したものとする。また、請負工事完了後の計算書のインデックスファイルは、別紙6「入力表」を参照にして、Excel等で作成(どのような方法で作成しても構わない。)し、csv形式で保存したものとする。

#### (2) ファイル数

「計算書(Excel、Word)」「計算書(Excel、Word 又はPDF)」フォルダ内の「工事件名」フォルダにつき、1インデックスファイルとする。また、容量によりCD-Rが複数枚にまたがる場合は、インデックスファイルをそれぞれのCD-Rの内容に対応するように分割し、各CD-Rごとに保存すること。

#### (3) 禁則文字

半角カンマ、機種依存文字及び全角ハイフンは、使用しないこと(「第3節 主な注意事項」の「3.3.1 インデックス表の作成に当たって」の(4)を参照のこと。)

#### (4) ファイル名

ファイル名は、次のとおりとする。

- ・設計委託の計算書のインデックスファイルは「工事件名.xls」とすること。
- ・請負工事完了後の計算書のインデックスファイルは「工事件名.csv」とすること。

#### (5) ファイル内容

別紙2「インデックスファイルの記入例(文書)」に従い、別紙3「定数体系図」及び別紙5「図面文書管理体系コード表(文書)」のコードの中から入力したデータとする。

### 3.2.3 製品確認

監督員によるデータ納入前の確認は、次の事項を目安とする。

- ( 1 ) この仕様書に従って、インデックスファイル・実体ファイルが作成されているか。  
特にインデックスの付け方は、間違えていないか。
- ( 2 ) 原寸大で印刷したとき、見やすい文書となっているか。
- ( 3 ) CD - R のケース及び本体に、この仕様書どおりの表記がなされているか。
- ( 4 ) CD - R をウイルスチェックし、感染されていないか。
- ( 5 ) CD - R 内の全データが、関連するソフトウェアにより読み込みが可能であるか。  
(「関連するソフトウェア」とは、「1 . 1 . 3 用語の定義」に記載のあるソフトウェアとする。)

### 第3節 主な注意事項

#### 3.3.1 インデックス表の作成に当たって

インデックス表の作成に当たっては、次の点について注意すること。

- (1) 一度 csv 形式で保存したファイルをダブルクリック又は Excel の「開く」から読み込むと、コード入力部分の先頭のゼロ（例：02 など）が消えてしまう。そのため、再度開いた場合は、Excel の「セルの書式設定」ですべてのセルを「文字列」に再設定し、先頭のゼロを付加した後、再度「csv 形式」で保存すること。
- (2) 最終的な csv 形式のファイルの確認は、メモ帳等のエディターソフトで行うこと。
- (3) 記入項目のない項目は、空白にすること。
- (4) 次の禁則文字は、使用しないこと。
  - ・機種依存文字
  - ・「 - 」 「 ¢ 」 「 £ 」 「 ¬ 」 「   」 (全て全角)
  - ・「 ? 」 「 ” 」 「 ’ 」 「 / 」 「 ¥ 」 「 < 」 「 > 」 「 \* 」 「 | 」 「 : 」 「 ; 」 「 , 」 (全て半角)
 特に全角の「 - 」(ハイフン)は、使用される可能性が大きいと思われるため注意すること。  
 なお、半角の「 - 」(ハイフン)は使用できる。
- (5) 交通局図面文書管理システムにデータを登録後、ファイル名で検索することはできない。
- (6) ファイル名については、別フォルダであれば、同一ファイル名が存在しても問題ない。
- (7) インデックス表の入力欄の入力文字数の上限は、下表のとおりとする。

	半角文字数	全角換算文字数
図面(資料)番号欄	30文字	15文字
図面(資料)名称欄	256文字	128文字
設計者欄	246文字	123文字
設計年月日欄	8文字	半角のみ
施工業者欄	256文字	128文字
竣工年月日欄	8文字	半角のみ
発注年度欄	4文字	- - - - -
記事欄	256文字	128文字
元データ番号欄	256文字	128文字

- (8) 施設管理図面のインデックス表の作成に当たり、次の点について注意すること。
- ・別紙1「インデックスファイルの記入例(図面)」において、A「ファイル名」、J「図面(資料)番号」、K「図面(資料)名称」を唯一一意となる名・番号・名称に定めること。
  - ・T「竣工年月日」を改訂履歴として扱うこと。
  - ・今回更新する路線及び場所が、前回更新した路線及び場所と同一である場合、更新インデックスファイルの作成の際は、更新前のインデックスファイルの、A「ファイル名」、J「図面(資料)番号」、K「図面(資料)名称」を変更せず、その他の項目についてのみ、適宜変更を行うこと。

### 3.3.2 ファイル・フォルダ名の規則

ファイル・フォルダ名の規則については、次の点について注意すること。

- (1) 拡張子を含めて、半角255文字以内の長さであること。
- (2) 全角文字(ひらがなや漢字など)のファイル名も利用できる。全角文字は、半角2文字分と数える
- (3) 「3.3.4 インデックス表の作成に当たって」の(4)で示した禁則文字は、使用しないこと。
- (4) 空白文字(スペース)は名前に使用できるが、色々と不都合が生じることがある。そのため極力、空白のかわりに「-」(ハイフン)や「\_」(アンダースコア)を使用すること。
- (5) 同一のフォルダ内に、全く同じ名前のファイルを複数おくことができない。
- (6) アルファベットの大文字小文字は、区別されない。  
(例)重複の禁止により、次のファイルを同一のフォルダ内におくことはできない。

xyz.doc

xYz.doc

しかし、次のファイルは同一のフォルダ内におくことができる。

xyz.doc

xyz.txt

### 3.3.3 保存に当たって

ファイルの保存に当たっては、次の点について注意すること。

- (1) インデックスファイル( .csv )及びそれに付随する実体ファイル( .dwg 、 .dxf 、 .jww、 xls、 doc、 .pdf 等)は、同一のCD-R若しくは同一のフォルダ内に保存すること。

# 別 紙